



「おにいさんたち すごいなア」

入学を指折り数えている子供たちが楽しみにしている「新一年生のつどい」が、3月5日中央公民館で行われホールは親子連れでいっぱいになりました。入学予定児童は267人(男138人・女129人)と昨年より21人多くなっており、ステージで“先輩”がくり広げる踊りや歌に瞳を輝やかせ、心はすっかり一年生のような様子でした。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

2月28日現在	(前月比)
総人口	24,462人 (1人増)
男	11,907人 (8人減)
女	12,555人 (9人増)
(出生	18人 転入 57人)
死亡	18人 転出 56人)
世帯数	7,285世帯(19世帯減)

平成元年3月定例町議会行政報告



平成元年3月定例町議会は、3月6日から17日まで12日間の日程で開かれました。議会は初日に町長の行政報告、施政方針のあと、提出議案に対する大綱質疑が行われ、各常任委員会に付託されました。8日、9日の両日は一般質問、10日には元年度予算に対する連合審査会を開催、13日からは各常任委員会が開かれ、付託議案等を審議、17日に本会議を開いて閉会する予定であります。出川町長が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。なお、決定した議案等については次回広報でお知らせします。

コンピュータ事務処理は 一月四日から稼動

〔総務課関係〕：行政改革及び行政サービスの一環として導入したコンピュータ事務処理については、町県民税、固定資産税の事務処理をはじめ、給与関係並びに窓口業務である住民票、転入転出証明書の発行が稼動され、町民の待ち時間が短縮されております。なお、年度内に選挙事務、教育システムの開発も可能となっております。



〃〇A化により諸証明はスピーディに

〔町民課関係〕：昭和六十四年一月一日付で「鷹巣町高齢者及び心身障害者等サービス調整チーム設置要綱」を制定し、各関係機関から委員を委嘱し今後の活動方針を立て協力を求めています。

町史編さん事業は 五年余りの歳月で完了

〔企画調整関係〕：企業誘致については、情報収集や誘致条件の整備等、鋭意努力しております。ところ、二社から立地の意向がありました。

一社は、医療器具部品製造関係の女子型企業で立地計画書が提出されておりますが、雇用計画及び事業計画等について、町の企業誘致指定基準に基づき審査中であります。もう一社は、自動車部品製造関係の男子型企業で、独自に工場用地を物色しておりますが、用地が決定になり次第具体的な立地計画が明らかになると思われます。

町史編さん事業は、合併三十周年記念事業として昭和五十八年十月から着手、資料編(一)、(二)



町の歴史を集大成した「町史」

本編第一巻、第二巻を発行し、本年三月の第三巻をもって、五年六カ月の歳月を費した本事業のすべてが完了することになりました。

〔保健課関係〕：町民の健康を守り、疾病の早期発見、早期治療をめざして実施した各種検診の受診状況は、四〇歳以上の一般診査では、一、三一人(うち精密検査七六一人)、胃がん検診二、三二六人、子宮がん検診八〇七人、大腸がん検診一、二八八人、結核検診五、七二七人でした。

成人病予防事業の事後指導の一環として行った「生き生き健康教室」は五回の講座を開設しました。

献血事業は、本年度の目標一、二九五本(一本二〇〇cc)に対し、一月末現在一、〇一九本の実績であり、この後予定されている二日間の成績に期待しております。

転作重点作物の種子、箱代 補助金は今年度限り

〔農林課関係〕：冷害対策事業の天災融資資金は、二月二十三日現在、借入申込希望者が二九六名で二億二千七十七万円となっております。

平成元年産水稲種子購入補助については、県補助の内示があり、町単補助に嵩上げのうえ交付の予定であります。また、救農土木事業では、二カ年で一千九百四十七万円と決定され、土地改良区、農協等と事業量の調整を行い近日中に発注の予定であります。

昭和六十一年度の転作重点作物七品目に対する種子代、箱代等の補助金については、年度内に実績報告に基づき、転作農家へ支払う予定になっております。なお、この補助金は今年度限りとなつております。

ております。

鷹巣町水田農業確立対策協議会と食料供給基地推進大会を開催し、本年度の反省及び元年度の方針、優良農業者の表彰が行われました。特に高品位銘柄米の振興、複合経営としての畜産、野菜部門の振興策等について関係団体の協調、提携が確認されました。

農業土木関係では、県営事業鷹巣農免農道等をはじめ、町が事業主体である農村総合整備モデル事業等についても順調に進捗しております。

農協合併については促進協議会を経て、合併予備契約調印式を二月一日に行う予定でありましたが、昨年十二月二十四日沢口農協の辞退、今年一月二十九日に西部農協より白紙撤回の申し入れがあり、止むなく調印中止となりました。



2月15日に行われた第7回林業振興講演会は 150人の出席者で埋まる

商業活性化をめざし 各種検討会を開催

〔商工課関係〕：鷹巣阿仁圏域における道路、鉄道、空港、大型レク施設、大型小売店など商業の盛衰にかかわる諸問題をかかえ、商業活性化検討会を開催しました。

誘致企業五社、地場産業四社、商工会、工業部会代表を加え、誘致企業懇談会を開催し、誘致企業と地場産業の融合化による共存共栄方策について協議しました。

今後のアパレル振興方策をさぐるため、商工会3M委員会と協力し、政府の審議会、アパレル部会委員長を招き講演と行政懇談会を開催しました。

県、市町村が提携して県内就職六〇〇〇名定住を目的に推進している新卒者地元定住事業は、企業誘致、内需拡大施設等良好な経済環境に加え、新卒者の職場見学、企業主、学校担当、行政担当との協議会を重ねつつ推進した結果、当職安管内で四三、七割（前年三一割）と一定の成果を得ることができました。

大太鼓の里づくりの中心施設としてすすめている館建設事業は、順調にすすめられております。また、ふるさと創生事業による太鼓の購入についても発注を終わりました。

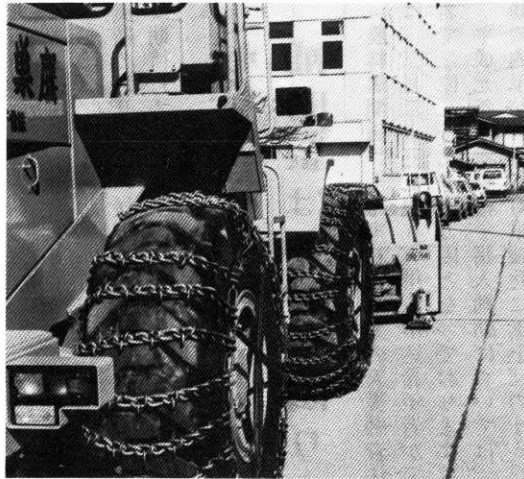
近年にない暖冬で

除雪費は昨年の二三割

〔建設課関係〕：二月末現在における各種工事の発注件数は一〇九件、予算対比で九七割の発注率

となっております。現在河川災害復旧工事六件、道路改良工事三件、都市下水路工事一件、中央公園公衆便所工事一件の計一件が工事中であり、期限内の完成を目指しております。

除雪については、近年にない暖冬で、除雪車の出勤は、十二月に四回、一月に二回、二月に一回の計七回でありました。除雪費用は七百八十万円で、昨年同期に対して、二三割となっております。



「たったの7回、今年の冬はなにもかも記録づくめであった」

小猿部簡水事業は 六集落に給水開始

〔水道課関係〕：上水道事業の経営状況につきましては、昨年同期と比較し三割程度の増加であり、経営収支についても順調に推移しております。

一方、簡易水道事業につきましては、小猿部地区簡易水道事業の六十三年度工事分である、取水施設をはじめとする構造物の築造及びテレメータ

ーシステムなどの電気計装設備並びに配水管布設工事を十二月下旬に完了しました。また、関連給水事業につきましても、一月中旬をもって関係六集落に給水開始しております。

雪不足のため スキー大会は中止

〔教育委員会関係〕：学校教育関係では、第三期は一月十七日より始業しました。冬期スポーツの中心であるスキーは、雪不足のため予定どおり実施できなく残念でありましたが、対外試合では小・中学校とも優秀な成績をあげました。特に鷹巣中学校女子スキー部は全県制覇七連勝に輝きました。

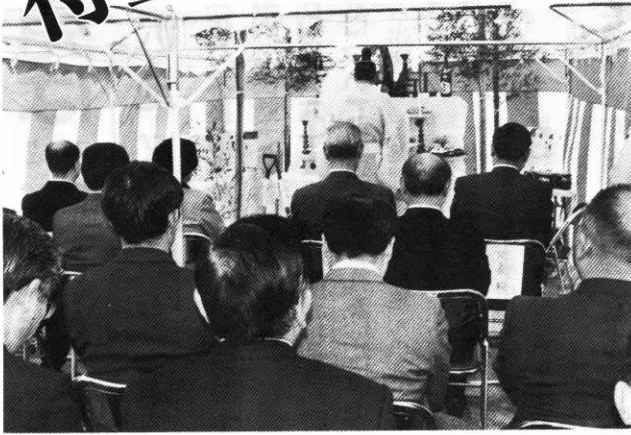
社会教育関係では、高鷹大学、成人大学、家庭教育学級のほか、冬季公民館定期講座が八教室、スポーツ教室は地区開設を含め一〇教室が実施されており、いずれも多くの町民が参加し、生涯学習活動に取り組んでおります。なお、予定されていた町民スキー大会は、雪不足のため中止となりました。

〔鷹巣町外六カ町村衛生施設組合関係〕：昭和五十九年六月十四日、県警に摘発された衛生センター放流水の水質汚濁防止法違反事件については、昭和六十年十月二日の初公判から延べ二七回の公判が開延され、昭和六十三年九月二十八日の公判が無罪判決となり、十月十二日で確定しました。本件については、事件発生以来、四年余りを要しましたが、的確な維持管理とセンター職員のご意過失のないことが認められる結果となり、センター運営はもとより、関係職員の士気と名誉を守ることができました。

10月オープンをめざして

待望の「大太鼓の館」起工式

年間7万人を見込む



“大太鼓の里構想”を進めている当町が、今年度と来年度の二カ年事業として七億円を投じて建設する「大太鼓の館」の起工式が二月二十八日に行われました。長い歴史と伝統を誇り国指定の無形民俗文化財・綴子大太鼓を保存しながら伝承しようとするもので、町の新しい観光の核として内外から注目されています。

七百年の歴史と日本一の大きさを誇る綴子の大太鼓をメインとする「大太鼓の館」の起工式が、二月二十八日に綴子大堤道下地内の建設現場で行われ、関係者約五十人が出席して工事の安全と早期完成を祈願しました。

七十七平方メートルで、中心となる館本体は千五百三十六平方メートル、駐車場千五百九十二平方メートル、芝生などの広場二千七百三十四平方メートルとなっています。館には上町・下町の大太鼓を配置した展示ホール、世界の大太鼓を陳列したミュージアムホール、臨場感あふれる体感ゾーンホールなどが設けられ、同敷地には第三セクター方式で、食堂や特産品の売店が入る物産館（六百平方メートル）も計画されています。

総事業費は七億円で、館本体工事に約四億円、内部装備一億円、土盛り・舗装などに一億四千万円、その他六千万円となっており十月のオープンを目ざします。

今後、広く「大太鼓の里たかのす」をPRして、十和田・八幡平と田沢湖・男鹿の中間点である利点を生かし、年間七万人の利用客を見込んでおり、町活性化の起爆剤として期待されています。

■16日(木) 鷹巣町外六カ町村衛生施設組合の議会を開催。

■17日(金) 協力委員全体会議が開催された。町行政全般に係る説明を行い、要望事項等に答弁し、日頃の労苦をねぎらい懇談した。その後、秋田市にて県町村会役員と知事との懇談会に出席した。

■20日(月) 鷹巣阿仁広域市町村圏組合議会に出席。



町長 日記

出川 禮一

2月16日～28日

会場に数多く開催される見込みである。

■25日(土) 坊沢自治会による「町長と語る会」が開催され出席し、町行政の主要な事業等と地区に係る事項を説明し、併せて各種の要望について回答をした。

■28日(火) 秋田農林統計協会北鹿支部の役員会及び総会が開かれた。情報化が国際的規模で拡大し、流通もこれに即応している時、

■21日(火) 角館町にて、秋田内陸線未開通区間（比立内～松葉）の工事を請負われた鉄建公団盛岡支社一行と、工事完了による感謝をかねた懇親会があり出席した。

■22日(水) 秋田県町村会定期総会に出席。

■23日(木) 鷹巣町食料供給基地推進大会を開催。また、鷹巣町陸協の総会も開催され出席した。今年も全県の規模の大会が、当町を

農林水産の各種統計は大変重要な度を加えている。当協会は十以上の各種統計を市町村、農業団体等々に配布しているが、これを充分活用して頂きたい。そのためにも正しい統計の素材提供を望まれるとあいさつを述べた。また、この日、自治省のまちづくり特別対策事業を導入して建設する「大太鼓の館」建築工事の起工式が行われ、工事の安全と早期完成を祈願した。

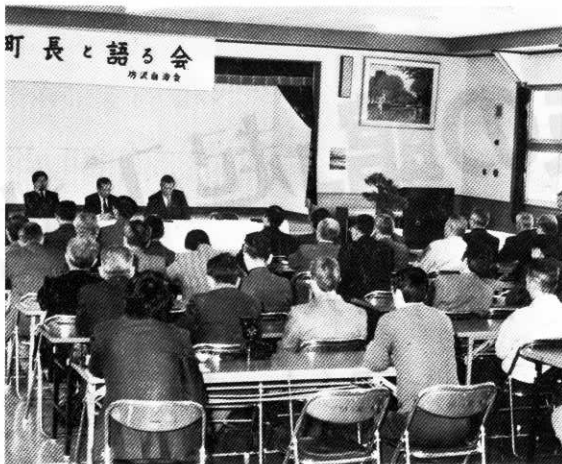
鷹巣農免は平成三年度に全線開通

坊沢地区「町長と語る会」

坊沢地区自治会（佐々木長藏会長）では、二月二十五日午後一時から坊沢公民館で「町長と語る会」を開催。各集落や各団体の役員六十人余りが出席して、地域からの要望事項等について質疑がなされました。

「語る会」には、町から出川町長はじめ地域出身の課長等が出席。地域からの要望や意見に対して、町長から答弁がなされました。

はじめに出川町長は「坊沢緑ヶ丘地内に建設中の広域ゴミ処理施設は、地元の協力により、昨年从今年にかけて、一日当り六〇トンの処理能力の施設として工事中であります。更に、平成元年度の単年度事業として、粗大ゴミ等の処理に必要な破砕機を焼却炉に隣接し、建設の予定であります。いずれも稼動を来年四月としております。町民の皆さんには、いままで以上に燃えるゴミ、燃えないゴミの区別にご協力願いたい。鷹巣農免農道事業は、第一期工事が完成し、現在、第二期工事中であります。JR奥羽本線の立体交差を含めて、平成三年度に



全線開通にこぎつけた」とあいさつした。

質疑の主な内容は次のとおりです。

▽米代川堤防の見直しについて
現在継続工事中の綴子川河川改修に伴う築堤工事が優先で、米代川堤防の計画は、摩当地内の米代川左岸が用買を完了しておりますので、当面摩当地内からの工事が始まり、完成後に坊沢地区の築堤となるようである。

▽国道七号線沿いに防火施設の設置を
消火栓を設置するには、水道管が五〇センチと細く貯水槽の設置が望ましいと思うので、適地等調査し検討したい。

▽旧西小体育館の改善について
建物全体が老朽化しており、全面改修は容易でない。部分的な雨漏り等については修理する。

▽大向部落内の側溝及び舗装改良工事について
予算等の関係もあるが、元年度もしくは二年度に事業着手したい。

臨時福祉特別給付金

福祉給付金・一人につき一万円
介護福祉金・一人につき五万円

臨時福祉特別給付金とは老齢福祉年金や特別障害者手当などの受給者、在宅の寝たきり老人などを介護し、所得の少ない人に支給される一時金のことです。

町では、民生児童委員を介して対象者は握につとめています。

■福祉給付金の対象者

- ① 老齢福祉年金▽障害基礎年金のうち旧障害福祉年金▽児童扶養手当▽障害児福祉手当▽特別障害者手当▽福祉手当（経過措置分）
- ② 基準日に本年2月分の特別児童扶養手当の支給対象となる障害児
- ③ 基準日に70歳以上の人（大正八年二月一日以前生）で、町民税非課税世帯の人

◆基準日に生活保護や社会福祉施設に入所している方はそれぞれの制度より支給されるので対象となりません。

■介護福祉金の対象者

- ① 基準日において生活保護を受けているか、町民税非課税または、均等割のみ課税世帯に属している方で次のいずれかに該当する方。
- ① 基準日において六カ月以上寝たきり、痴呆などで常時介護を必要としている六十五歳以上の方。
- ② 本年2月分の障害児福祉手当、特別障害者手当または福祉手当（経過措置分）を受給できる方。

◆基準日に病院、老人保健施設などに入院している方などは、支給されません。

■受給手続きと問い合わせ
三月二十五日までに福祉係（六二一一一一内線一二六）へ。

注・基準日とは平成元年二月一日です。

食料供給基地推進大会

足腰の強い農業をめざして

「地力の増強が不可欠」

した。

第六回を迎えた町食料供給基地推進大会が、二月二十三日役場で行われ百二十人が参加しました。二年続きの米価値下げ、大幅な減反、農産物の輸入自由化など今、農業をめぐる状況は先行き不透明な大きな岐路に立たされているだけに、「農業で活路を見いだそう」とする農家の姿がありま

大会は、今年度の農林業報告や来年度の振興方針などのあと、優良農業経営者として表彰された四氏の事例発表、講演などで理解を深めました。事例発表の要旨は次のとおりです。

〔稲作部門〕摩当・小坂文孝さん（三九歳）

低コスト、生産基盤・地力の維持増強と良質米を目標に努力。低コスト化には、ほ場の大型化、分散したほ場の集合が不可欠であり、なによりも地力の維持に気をつけています。そのおかげで昨年の天候でもあきたこまち、キヨニシキ、ササニシキの組合せで反収五七〇*、一等米比率九〇・五割でした。

優良農家の事例発表は、自信と意気込みが感じられる

十歳）。

夏秋キュウリに取り組んで十年を経過しましたが、育苗の大事さを痛感しております。面積は十坪ですが山間部で日照時間が少なく、温度差が大きく収量は制約を受けますが

一株一株愛情を持って接していれば利益が一番期待できる作物である。十坪が目標であったが六十坪で、さらに研修を重ねたい。

〔畜産経営部門〕高森岱・畠山正美さん（三三歳）

母豚百二十頭、雄豚十頭、肥育豚千二百頭を飼養。年間出荷頭数二千三百頭となっており、母豚はハイコープで豚肉市場も銘柄の時代を迎えており、常に最新の情報収集に気をつけています。今後、公害問題などの課題を克服し、專業養豚家として努力したい。「消費者ニーズに対応しながら推肥の供給源として、地域の食料生産に寄与したい」が私たち家族の信条です。



浅利講師はバイオ技術についてわかりやすく説明

〔特用林産部門〕掛泥・高坂春雄さん（六六歳）

昭和四十三年に一・五畝に西明寺種六百本を植栽したのが始まりで、現在二・五畝に拡大しています。植栽地は開拓地で土地がやせておりましたが、研究を重ね五十三年から肥培と防除に専念したところ、昨年は千二百*の収穫があった。今後は、二千二百*を目標にがんばりたいと思っています。

産業に革命を呼ぶバイオ技術

講演は「野菜栽培におけるバイオ技術の応用化の現状と今後の見通し」と題し、県農業試験場園芸畑作部・浅利幸男さんがバイオテクノロジの仕組みや応用範囲を説明。こ

の中で、バイオは大きく遺伝子操作、細胞培養、微生物・酵素利用、遺伝資源の確保と四つに分かれ、望む性質だけを入れ換えて新品種を作るDNA、優良牛の核を普通牛の受精卵に入れる核移植、優良苗の大量増殖が可能になった組織培養、稲わらから糖やアルコールを作るバイオリアクターなど、今バイオ技術は農林漁業のみならず医療、食品、環境衛生などに広く活用されており、さらに研究が進むことにより、適応範囲の広い多様な作物、品種、系統が開発されるものと思われま

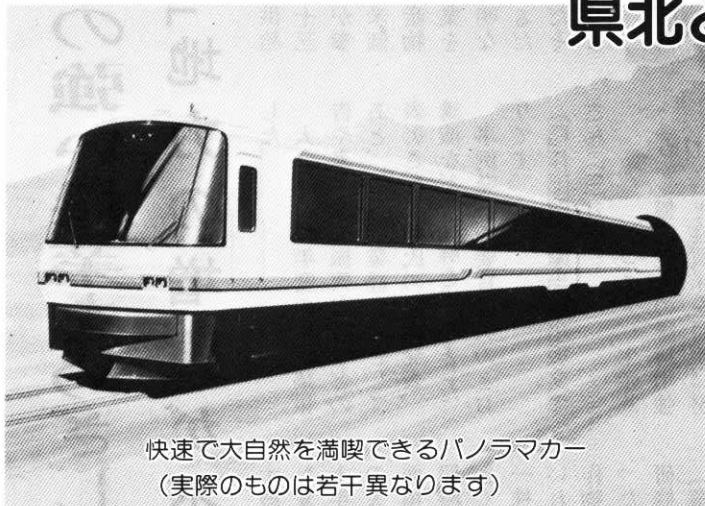
す。出席者からは「自分たちが知らぬ間に、食べたりに使っている。日進月歩だけにむずかしいなどと言っておられない」と真陰に聞き入っていました。

4月1日 秋田内陸線

全線開通

沿線住民の夢を乗せスタート!

県北と県南の大動脈に



快速で大自然を満喫できるパノラマカー
(実際のもは若干異なります)

沿線町村の半世紀にわたる悲願でありました秋田内陸線の全線開通を四月一日に控え、町では急ピッチで開業式典の準備を進めています。県北と県南を結ぶ動脈として産業、文化、観光などの交流が盛んになるとともに「身近かな鉄道」として、みんなで守り育てたいものです。開業日には歩行者天国や盛り沢山のイベントが予定されており、賑やかな一日となりそうです。

国鉄の赤字ローカル線として廃止対象となっていた阿仁合線および角館線は、沿線町村の強い要望が受け入れられ、第三セクターにより存続することになり、秋田内陸線として

秋田内陸縦貫鉄道株式会社として、昭和六十一年十月から経営を引き継ぎ再スタートしました。しかし、北線（鷹巣～比立内）、南線（角館～松葉）の部分開業であり、県北と県南を結ぶ動脈として一日も早い全線開通が待たれていました。

未開通区間（比立内～松葉間二・九・三）の工事は、国によって昭和六十年十月から再開され、本年三月で完了する運びとなり、沿線住民の半世紀にわたる悲願でありました鷹巣～角館間が四月一日に開通することになりました。交通手段が多様化したなかにあっても鉄道は大量輸送、定時性、安全性にすぐれ、地域の過疎脱却や活性化に

大きな効果をもたらすものであり、「秋田内陸線」を私たちの身近かな「足」としてみんなで利用しましょう。

急行で東京が 日帰り可能に

秋田内陸縦貫鉄道株式会社では、みなさんに「愛され、親しまれる鉄道」にしようと工夫をこらしたダイヤや車両の配備を予定しておりますが、鷹巣～角館間は上下合わせて六本、そのうち四本は一時間五分で結ぶ急行列車とし、これを利用すると東京への日帰り（都内滞在三時間十分）も可能になります。また、車両も眺望のきくパノラマカーで、沿線のすばらしい景観が満喫でき、誘客にも大きな効果が期待されます。

開業記念式典 は鷹巣町で

四月一日の全線開業にともなう各種の記念行事が鷹巣町で行われます。まず、角館発の式典列車が午後一時二十分に小ヶ田駅に到着。一時二十五分には新設された西鷹巣駅（中岱地内）

に到着すると、テープカットがあるほか午後三時より鷹巣駅で安全祈願祭、開業式典そして運輸大臣、鉄建公団総裁をはじめ、国・県会議員、全県の市町村長など五百人以上の関係者が出席する全線開業祝賀会が鷹巣体育館で行われることになっています。

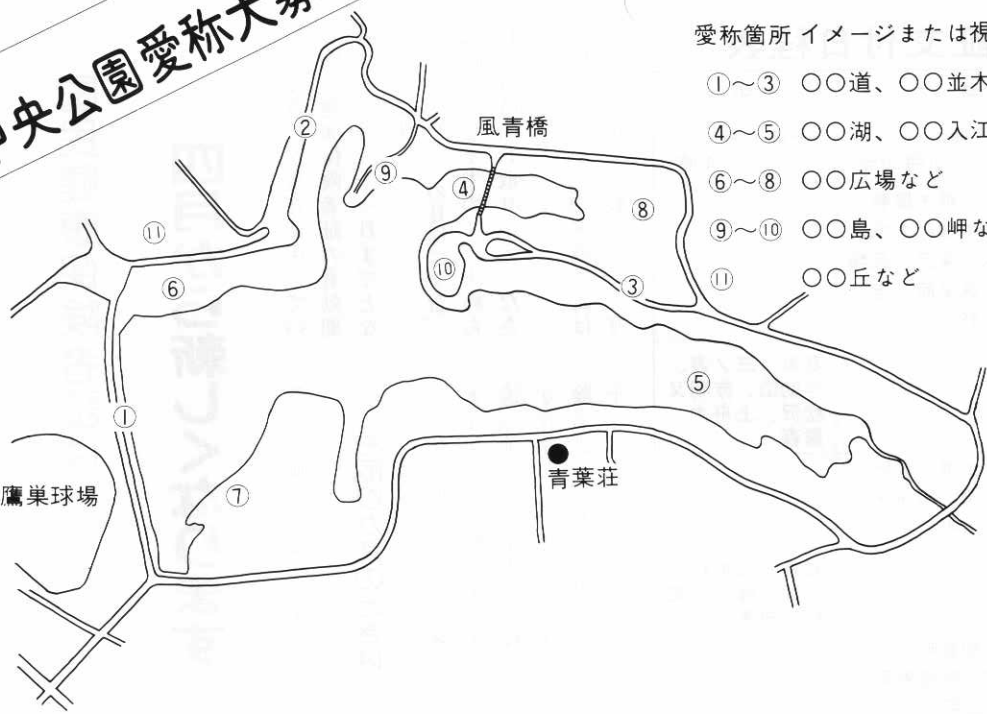
町民あげて歓迎 しましょう!

式典列車には沿線町村の関係者が乗車して来町します。小ヶ田、西鷹巣駅では付近の方がたをはじめ子供会、老人クラブなど町をあげての歓迎で鷹巣町の喜びを表しましょう。

また商工会、各商店会、婦人・青年団体、太鼓グループなどの協賛により午後一時から三時半まで、駅前より秋田銀行までを歩行者天国として開放し「ミニふるさと踊りと餅つこまつり」「太鼓グループの競演」など、大々的なイベントが開催されます。

全国に鷹巣町をPRする絶好の機会でもありますので、みなさんの参加で、秋田内陸線の全線開業を祝いましょう。

中央公園愛称大募集



愛称箇所 イメージまたは視点

- ①～③ ○○道、○○並木など
- ④～⑤ ○○湖、○○入江など
- ⑥～⑧ ○○広場など
- ⑨～⑩ ○○島、○○岬など
- ⑪ ○○丘など

親しみやすい名前を付けてネ!

「新観光秋田三十景」に選定され、町民の憩いの場となっている中央公園には、並木や広場、岬、入江などをはじめさくら、アジサイ、水面に映える松など四季おりおり変化を見せながら、心のやすらぎを感じさせてくれます。

バイパスからの取付け道路の拡幅改良や、大型で近代的な公衆トイレも急ピッチで工事が進められており、春の行楽シーズンには安心して利用できるようになりました。

このように整備が進む中央公園の特色ある箇所に、親しみやすい名前を付け、より楽しんでもらおうと広く公募するものです。

▽公募期間 三月十五日～四月十日まで

▽審査 四月中旬

▽発表 さくら祭り期間中に特設ステージにて

▽採用分には記念品を贈呈
▽申し込みと問い合わせ 商工課 (☎六二一一一一一内線一五一)

鷹巣町10景・観光コース提案募集

沿線住民の非願であった秋田内陸線全線開通を間近にひかえ、10月には世界に誇る綴子大太鼓をメインとした大太鼓の館のオープン、町を一望できる慶祝公園、ご存知中央公園など当町には豊かな自然や名所・旧跡がたくさんあります。

そこで町では新年度を「観光元年度」と位置づけ、町民の提案をもとに町内観光資源を最大限活かして各コースを設定することになりました。さぁ！あなたのお勧めコースをお知らせください。

■応募内容

- (1)鷹巣町10景の提案について
 - ▷名所・旧跡など、町内外の観光客に「これが町の10景だ」と自信をもって紹介できるものとする。
 - ▷選定にあたって、その理由とガイドできる簡単な案内文をつけてください。

(2)観光コースの提案について

- ▷宿泊コース、1日コース、半日コース、2時間コースを設定する。
- ▷コースの中に「大太鼓の館」を入れること。
- ▷「動」と「静」の組み合わせや季節も考慮すること。

■応募作品の活用

4月以降の観光資料作成に活用し、町内外の観光客の誘客につとめる。

■応募作品の発表

中央公園「さくら祭り」期間中に発表・応募者全員に景品を贈呈します。

■応募締切

3月31日まで必着

■送付先と問い合わせ

商工課 (☎62-11111内線151) へ

保険者証交付日程表

月日	会場	時間	
		午前9時～11時30分	午後1時～4時
3/23 (木)	七日市基幹集落センター	七日市、根木屋敷、横淵、中畑、大畑、下舟木、深沢、品類岩脇、妹尾館、吉ヶ沢、吉野	
	三ノ渡会館		葛黒、三ノ渡、与助岱、赤利又松沢、上舟木、黒森
	綴子基幹集落センター	下町、大堤、前野団地、小田、田子ヶ沢松原、上町	
	北健康増進センター		岩谷、二本杉、大畑、糠沢、昭和、向黒沢
3/24 (金)	坊沢公民館	深閑、相善町、羽立街道町、新屋敷町、大町、上町	
	栄生活改善センター	摩当、李岱、田沢、岩坂、下大沢	
3/28 (月)	今泉生活改善センター	今泉、蟹沢	
	前山会館		前山、黒沢
	沢口林業センター	湯ノ岱、坊山、四渡中屋敷、脇神、藤株小摩当、小森、上野	
	南鷹巣会館		南鷹巣、舟場、高村、堂ヶ岱、西陣場岱
3/28 (火)	役場国保係	上記日程に更新のできなかった方々	
3/29 (水)	中央公民館	元町、大町、米代町松葉町、材木町、花園町、東横町、宮前町、旭町、住吉町、伊勢町	住居表示区域外田中高中小車、湯地、南緑ヶ川口、団中、掛野尻、新野、高太け

国民健康保険者証は

四月から新しくなります

みなさんが現在使用している国民健康保険者証の有効期限は、三月三十一日までとなっています。

このため、次の日程で更新、交付いたしますので、決められた日時にお取りかえください。

四月一日からの保険者証はオレンジ色（一般）とミドリ色（退職）になります。

お取りかえのときは

現在使用している保険者証と印かんが必要です。また、遠隔地にいる学生や出稼ぎ者が使用している^①、^②の保険者証も、有効期限が三月三十一日までとなっています。

保険者証をもう一度確認して手続きを

有効期限の過ぎた保険者証では、医療を受けることができませので、お早目に連絡をとり更新の手続きをしてください。

おとしよりの医療

七十歳以上（身体障害者で一級から三級までの方は、六十五歳以上）の人は「老人保健制度」で、医療を受けるこ

る方
 ▼生活保護を受けている
 ■国保に入るべき方は
 ▼鷹巣町に転入してきたが、社会保険などに加入しないまま無保険になっている
 ▼会社などをやめて無保険のままになっている
 ▼生活保護が廃止になり、無保険のままになっている

外来は一カ月、八百円

一つの医療機関ごとに、毎月最初の診療日に支払い、総合病院では各診療料ごとに、医科と歯科では別々に支払います。

入院は一日、四百円

入院した日数分を支払う。ただし、住民税非課税世帯で老齢福祉年金を受けている人は、一日、三〇〇円を二カ月間だけ支払う。

老人医療受給者証の有効期限が過ぎてないか、もう一度おたしかめください。

▼健康保険者証 ▼印かん ▼身体障害者手帳（手帳のある方のみ）を持参して更新の手続きをしてください。

くわしくは、保健課国保係へ（☎六二一一一一 内線一三三三）

とになります。

お医者さんにかかるときは「健康保険者証」と老人保健によって交付された「健康手帳」と「老人医療受給者証」を窓口提出して、診療を受けることとなります。

おしらせ

消費税が四月から
スタートします

今年の四月一日から新しく消費税がスタートします。

この消費税は、商品やサービスの売上げにかかる間接税で、税金分は価格に上乗せされ、最終的に消費者が負担します。

なお、消費者が負担した税金の納付は製造、卸、小売の各事業者が行うことになっていきます。

そのため事業者の方には、消費税の仕組みはもろろんのこと、納税事務の手続きをいち早く知っていただく必要があります。

税務署では、事業者の方に対して説明会を開催したり、詳しいパンフレットを用意していますのでご利用ください。

秋田東高校通信制
生徒募集

秋田県立東高等学校では、通信課程の生徒を募集しております。

年齢に関係なくだれでも入学でき、高校普通科卒業資格が得られます。また、転入や中退者の編入もできます。

学習内容は、自宅学習が主体で月二回程度の出校です。

出願期間は、四月一日まで選考は書類と面接のみで行われます。

入学案内、願書の請求や問い合わせは秋田市中通六一六―三六「秋田県立東高等学校通信制課程」(☎〇一八八―三〇四―〇四七三)へ

農耕用軽油の
免税証を交付

農耕等に使用する軽油の免税書の申請、交付を次の日程で行います。

おいでの時には、表の関係書類をご持参ください。

- ◆申請書の受付
- ▽日時 三月二十九日(水) 午前十時～午後三時
- ▽場所 役場大会議室
- ※ご注意ください。

▽共同申請の場合、印鑑と耕作証明書は全員のものが必要です。

▽前回の免税証交付数量が二百リットル以下の場合には免税軽油の納品書は不要です。

▽免税証や免税軽油を他人に譲ったり、譲り受けることは出来ません。

◆免税証の交付

▽日時 四月四日(火)、午前九時三十分

▽場所 役場大会議室

▽交付に必要な書類 ①免税証引換券(申請時に渡します)

②申請者印鑑(共同の場合でも代表者のもののみです)

③受領者印鑑(受領者と申請者が異なる場合です)

詳しいことは、北秋田県税事務所(☎〇一八六―四九―二二二一)におたずねください。

必要な書類等(〇印)

継	続	新規(共同申請で構成員に異動がある場合を含む)	必要書類等(〇印)							
			機械に変更のある場合	機械に変更のない場合	使用者証	元年中有効	以外	印鑑	耕作証明書	免税軽油使用者証

夜間当番医(夜間診療) 日程表

(午後6時30分～9時)

3月	曜日	医療機関名
16	木	盛岡医院
17	金	近藤医院
18	土	戸嶋産婦人科医院
19	日	北秋中央病院
20	月	奈良医院
21	火	藤原医院
22	水	佐藤外科消化器科医院
23	木	佐々木産婦人科医院
24	金	盛岡医院
25	土	北秋中央病院
26	日	としま医院
27	月	戸嶋産婦人科医院
28	火	近藤医院
29	水	奈良医院
30	木	佐藤外科消化器科医院
31	金	藤原医院

(急患以外は受け付けません)

鷹巣町が

「貯蓄奨励重点市町村」

に指定

～賢く貯めて豊かに使う～

慣れない手付きで 木彫に挑戦

坊沢公民館木彫講座

彫刻刀が冴える

これまで、中央公民館中心に行われていた各種講座を、地区の公民館でもぜひという声にこたえて開講されました。

講師は、地元の相善町・高坂次郎さんで、会員数二十六人が慣れない手で木彫に取り組みました。二月中旬に三回実施しましたが、急速な進歩に講師の高坂さんも驚いているということでもあります。

複雑な形をした、伐根から見事な飾り物を完成させた人「ろくろ」なしの手彫りで一輪



挿しを仕上げる人など、どんな新な着想が高く評価されています。

お金を出して買うことに慣れて、生活を見つめ、自らの力で創造することを忘れがちな時代なので、このような活動が全町に広められることを期待したいものであります。

なお、中央公民館の木彫講座では、角柱から弥勒菩薩の頭像を彫りおこしていますが、回数が少ない割に「ノミ」の動きに熱がこもってきているとのことであります。

見事な仏像の完成がたのみです。

読書感想文

多数応募

三月四日、中央公民館と読書会主催の読書推進大会が開かれました。

当日第二四回読書感想文、第八回読書体験文コンクールの表彰式も行われました。今年度は小学校一年から中・高・一般まで三百八編の応募で、晴の入賞者は百二十二人でありました。

今年度、特に注目されたのは、一般二五編の応募者中、西小PTA親子読書の父母の応募作品が、二二編もあつたことです。

西小親子読書の歴史は古く十二年前、中央公民館の学校教育と社会教育の連携事業の一つとしてスタートしています。毎年夏冬二回、学校とPTAで親子読書感想文の募集を一年一回(冬)親子の感想発表会が実施されてきています。こうした息の長い実践から、すぐれた作品も多く、全県親子読書コンクール特選の作品も生まれているとの事であります。

ふるさと

人物伝

石田幸太

一八九四—一九六四
今の大町三丁四丁目あたりは戦前「南新町」と呼ばれ本屋、銀行、雑貨店、呉服店など大きい店が並び最もにぎやかな通りであった。

老舗石幸商店の先代石田幸太さんは手固い経営で店を築きあげた人である。店は父長三郎の代に始まり店舗は向い側にあつたが、西日が強くあたるので現在地に移転したという。

明治二十七年生れの彼は小学校卒業後、父の手助けをしていた。大正三年、弘前歩兵第三十七連隊に入営中に父が死去し、一年で除

隊を許され家業を継ぐ。

阿仁部にはまだ鉄道のない時代で、彼は草鞋をはき二重マントを着て大野台を歩いて前田や阿仁合方面まで注文とりに歩いた。注文を受けた品物は荷馬車で送りどけた。ときには舟で運ぶこともあつた。かんづめ、砂糖、酒、セメント、ガラス、釘など多様であつた。また、米内沢、前田、阿仁合などの市日には欠かさず店を出した。

昭和九年阿仁鉄道が通り、ぐんと便利になるが戦争で物資が統制され出張販売は不能になり、終戦、大火と転機を経て現在に至る。

彼は「物は粗末にするな」と、客にも言い聞かすほど固い人であつた。反面、運動会にはノートや鉛筆をどつさり寄付していた。夕食後、丹前の中に子供をおんぶして尺八を吹く風流な人でもあつた。合併前の町会議員、初代商工会長などを勤め、昭和三十九年没七十歳。



資料(二階堂善三、現当主石田幸太談) 文責 長崎久



孫たちの踊りに目を細める

早春に敬老を祝う「第23回田中部落敬老式」が3月5日に田中総合センターで行われ、この日を待ち望んでいた30人のお年寄りには婦人会の心づくしに舌鼓を打ちました。子供会もハッスル/安来節では堂に入った踊りを披露し、ヤンヤの声援。部落あげてのサービスに思わず目頭をぬぐう老人もおり、ほのぼのとしたぬくもりを感じました。

3月4日中央公民館で第24回読書感想文・第8回読書体験文コンクールの表彰式がありました。

「本の好きな子供を」と公民館や読書会などが主催する読書推進運動の一環として進めてきたもので、今年の応募作品は300編を越え、審査する先生も大変。活字離れが心配されていますが「鷹巣の子供は本好き、のようです。

読書する子は考える



「はたち」を迎えた芸文協

創立20周年を迎えた町芸術文化協会の記念式典が2月25日に町内のホテルで行われ、加盟40団体の会員約200人が出席、会場は華やかなムードに一つまれました。昭和44年に発足した同協会は社会教育、生涯教育の中心的存在として豊かな町民性のかん養、創作活動など幅広い活動を展開。大きなふし目を迎え、より一層の飛躍を期していました。

3月3日は「ひな祭り」にあたることから各保育園、幼稚園ではお楽しみ会が行われました。中央

保育園（園児80人）でもひな壇を囲み、歌や遊戯などが披露され、子供がふんする内裏（だいら）びなも登場して、楽しいひと時を過しました。女の子の祭りとあって、いつもはおされぎみの「姫」たちも、この日だけはハッスルのようでした。

「ひな祭りは楽しいなア」



の広場



南鷹巣保育園
はたけやま たくやちゃん
(六歳)



大正は遠く、長い昭和も終わり、平成の世を迎えて七十歳、生涯を通して一番長かった「昭和」を思うとき、全国民と、全町民が被災者であった「戦争」と町の「大火災」を、思わないでいられない。私もその中の一人で、食糧



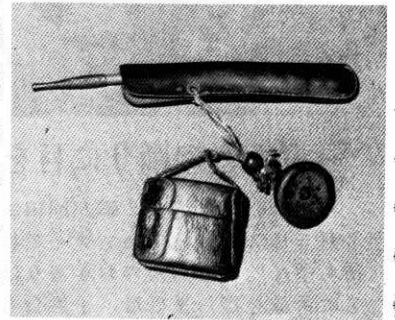
松葉町
小塚 タツさん(70歳)

戦争と町の大火

今月のテーマ『私の昭和』

不足の折から、馴れない畑仕事に精を出す父の手助けに、肥料桶など積んだ荷車を引き、米代橋を渡った事や、焼跡の小さな仮小屋で、大家族がひしめき合って暮した事なども懐しい昭和の思い出です。そんな昭和の世を九十余歳まで生きた父母を支えてくれた、隣人の愛情と友情の暖かさに「人の世の情」をひしひしと知った昭和でもあった。何一つ貢献する事のなかった後悔の残る昭和に執着があるとすればそれは、六十年間 労苦を共にして生きた父母へ

対談 わたしたちの意見



たばこ入れの「胴乱」
(ふかふかのキザミたばこ)

昭和の初めまで、木綿の着物にもつべをはいた職人たちが、キザミたばこをキセルでふいていた。火打ち石で火をつけ、火種をまた火受け輪に入れて、ひきついた。胴乱は黒い帯の脇に差していた。

〔松葉町 佐藤富雄さん〕



熱く語りかけたいふるさとの友へ

横浜市保土ヶ谷区・松岡貞雄さん(53歳)

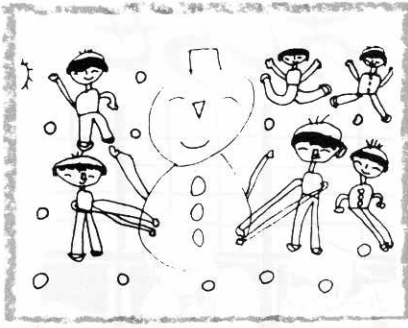
ジャイアント馬場が、自分のふるさとの歌「砂山」をうたって涙するように、遠くふるさとを離れている人間にとって、その思念は熱く、宗教的ともいえる程測り知れないものです。

私は、こぶしの花が咲き、耕された田畑の湯煙りの匂いのする頃になると、たまたまなくふるさとへ語りかけ、先生方や友達に長い長い手紙をエコーしているのです。あの松葉ぼたんは、四十年近くたった今でも淡く咲き続けているでしょうか。



第三者からみると、単なるセンチメンタルに過ぎないかも知れません。なぜなら、豊かになったとはいっても、現実の生活ととりまく経済環境は、米の問題一つとってみても、極めて厳しいものであり、国際化の流れに、例外は許されないという追いつめられた情況下にあるからであります。昨年の東京鷹巣会では、地元の皆さんがこういう問題をかかえながらも、ふるさとの経済的活性化に努力をされておられることを知り、懐しみの反面、痛く認識を新たにしたい次第です。

ふるさとの友達の皆さん、いつか語り会いませんか。▽摩当・松岡国男さんの兄さんです。



南鷹巣保育園
こづか かよこちゃん
(六歳)



みんな



の愛着であると思う。
未知の世「平成」への希いは、
争いのない「平和な世」であ
る事を祈りつつ……。

忍耐の時代



今泉 泉
仲谷 実さん(59歳)

私は樺太生れである。父が大正末期、王子製紙恵須取工場の職工だったので、少年時代の大半を樺太で過ごした。樺太は今のサハリン、冬は零下四十度の厳寒だった。高等科卒と同時に、立川陸軍航空廠技能者養成所に、そ

法報の心あり

収納スペース

いろいろな

家具が販売されていますが、収納家具を選ぶ原則は、まずこういう方法でというはつきりした考えを持つこと。それから、その条件を満たす収納家具を探すことです。ものしまいい方には、その人なりの方法、クセがありますから、

の後帯広航空隊に転属、ここで終戦を迎えた。

当時樺太に残った両親と弟妹十人、私は父の実家に復員し、家族が引揚げたのは、昭和二十二年の八月だった。

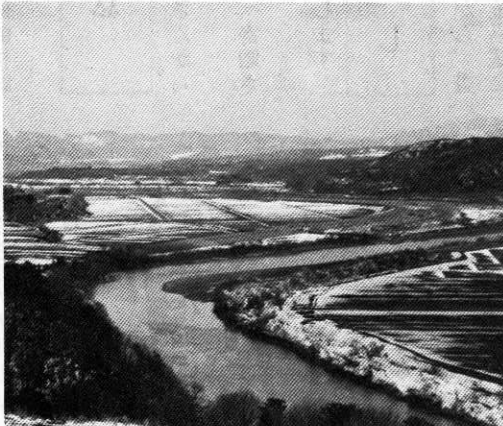
それから今泉の山奥に開拓農家として住み着いた。終戦直後の食糧難時代、食うや食わずの大苦労が続いた。

あれから四十年余、飽食時代の到来である。父母はすでに他界、兄弟姉妹もそれぞれ独立した。娘や息子も成長し、私は独学で建築士の資格を取り現在工務店を営んでいる。昭和の動乱を生き貫いて来た「忍耐」、これが私のすべてである。このことを、孫達への教訓として残したい。

その家具が果たして自分のしまいに合っているかどうかをチェックするのは大切なことです。

快適に暮らすために必要な収納スペースの目安は、床面積の十割といわれます。押し入れや戸棚などの収納スペースの面積を合計し、それが十割以上なら、少しモノを減らすことを考えてみたほうがよさそうですね。

昭和30年代の今泉地区遠景である。米代川に囲まれた一帯は「一等田地」であったが、48年にカドミ汚染米問題が発生し大騒ぎとなり、ほ場の土を全部入れ替え、堤防を強化するなど大工事が行われた。



たかのすの昔



三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十二日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、お酒の上手な飲み方と酒害相談を行います。

リハビリ教室は十五日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四力月児健康診査は二十八日です。

対象は昭和六十三年十一月生まれのお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。

受付時間は午後一時から一時三十分までです。

離乳食指導と七力月児健康相談は二十八日です。

対象は昭和六十三年八月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

三歳児健康診査は十六日です。

六十三年度町税の納期は過ぎております

未納の方はお早目に納付を

対象は昭和六十一年一月、二月生まれのお子さんです。

受付時間は午後零時三十分か一時まで、母子健康手帳、問診票をお持ちください。

※場所はいずれも鷹巣保健所です。

入浴指導と育児相談は二十三日です。

入浴指導は新生児のお風呂の入れ方など、時間は午前十時からです。育児相談は午後一時から三時までです。

場所は中央公民館保健相談室です。

母子健康手帳交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程 三月二十日

▽受付時間 午後零時三十分から一時(終了時間三時)

▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防▽持参品 印鑑、歯ブラシ、

▽場所 中央公民館保健相談室

善意

▽花園町 長内暁子さんから衣類三十点

町社会福祉協議会へ寄贈されました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽前山 会田茂さんから亡母シゲさんの香典返し

▽太田 長谷川和美さんから亡父伊左美さんの香典返し

▽松葉町 五代儀健悦さんから亡祖母ミサさんの香典返し

▽田子ヶ沢 佐藤幸一さんから亡父憲司さんの香典返し

▽綴子下町 成田源太郎さんから亡妻ナツさんの香典返し

▽旭ヶ丘 原定利さんから亡父義豊さんの香典返し

▽あけぼの町 天野敏子さんから亡夫弘さんの香典返し

▽相善 藤田和子さんから亡義母チエさんの香典返し

▽大館市 三沢鍵一さんから

亡母トミさんの香典返し
▽七日市本郷 長岐国雄さんから亡叔母ユリさんの香典返し



2月16日～28日

誕生おめでとうございます

畠山 学(均) 二男(あけぼの)

松尾 美季(敏行) 二女(太田)

柳谷 好(克典) 二女(摩当)

鈴木 大人(利明) 二男(舟見町)

小笠原 純(秀信) 二男(前山)

相馬 遥(昌幸) 長女(上船木)

■二人の前途を祝福いたします

村 上 洋 一 掛 泥

遠 藤 美 幸 秋 田 市

おくやみ申しあげます

成田 ナツ(58歳) 下 町

小笠原ヤス(91歳) 前 山

藤 嶋 絹代(51歳) 相 善

山 城 勇藏(84歳) 七 日 市

阿 部 チエ(58歳) 下 家 下

三 澤 トミ(75歳) 下 町

湊 長一郎(90歳) 糠 沢

金澤知一郎(60歳) 旭 町

佐藤 多市(79歳) 大 堤

和田善之助(77歳) 松葉町